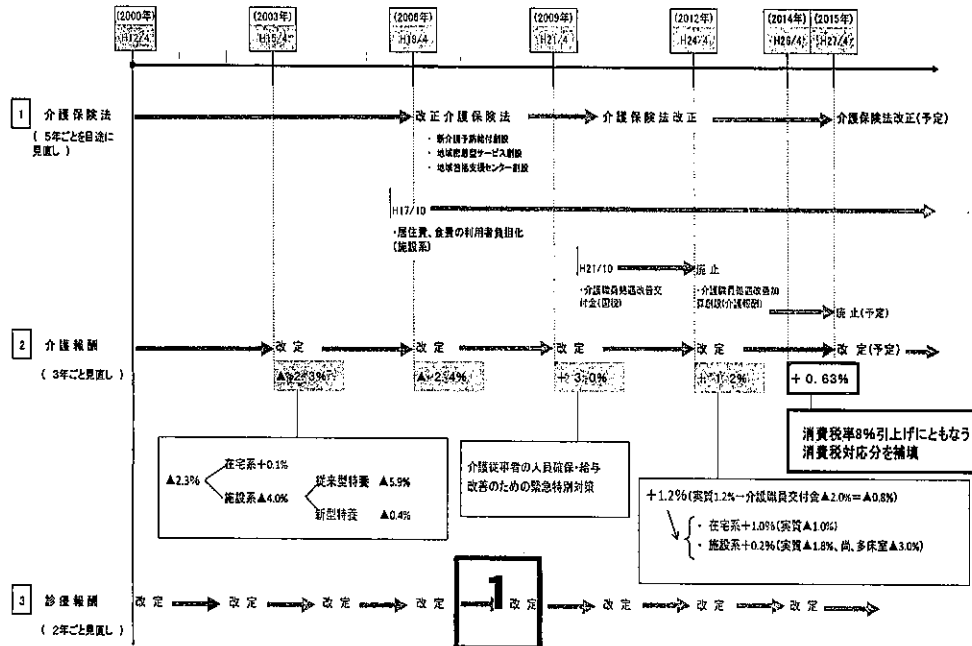


平成25年度 事業報告

重点課題

高齢者虐待防止の周知徹底
 各サービスごとの目標稼働率の設定等
 マンクオリティの確保・サービスの質の向上
 教育研修(OJT・SDS等)の強化徹底による人材
 地震防災対策の強化

介護保険法・介護報酬の等改正経緯と今後の Schedule



1. ファボール星陵 (本体施設)

入居者・利用者の目標稼働率等について

特別養護老人ホーム (星陵3階・4階・5階)

目標 97.0% (56.3名)



実績 94.3% (54.7名)

- 利用者や家族の意向を十分に汲み取り、個人の「尊厳」に叶う施設ケアプランを作成に努めた。
- 入退居の際に発生する、アイドルコストの削減に努めた。

※ 各サービスの稼働率は、介護報酬をベースに算定している。

併設ショートステイ (星陵3階・4階・5階)

目標 98.0% (11.8名)



実績 95.8% (11.5名)

- 地域包括支援センター、在宅介護支援センター、居宅介護事業所との綿密な連携による、新規利用者の獲得に努めた。
- 特養入居申込待機者から、ショートステイ利用の掘り起しに努めた。
- 新規利用者契約者は、53名の実績であった。
- サービスの質の向上等を図り、反復利用者の促進に努めた。
- 特別養護老人ホーム空床利用制度を有効に活用できるよう努めた。

2

併設デイサービス (星陵2階)

目 標 要介護 17.0名、要支援 3.0名



実 績 要介護 12.1名、要支援 3.4名

- デイサービス運営推進会議により、PDCAサイクルの実効性を評価した。
- カフェラウンジ ファホールを通じて、体験(潜在的利用者)から契約へつながるよう、利用者の掘り起しに努めた。
- 情報取得には不可欠となる、居宅介護支援事業者等へ月1回以上の訪問(報告・連絡・相談)を継続的に実施した。
- ファホール通信の発行することにより、地域へのPR活動を実施に努めた。
- 2階デイサービス廊下部分に、新たにエントランスを設置し、在宅サービスエリアを明確にし、ブランド化を図った。

居宅介護支援事業 (星陵1階)

目 標 要介護者 22名、要支援者(委託) 8名



実 績 要介護者 18名、要支援者(委託) 8名

- 個々の利用者のニーズ、及び自立支援と重度化予防を、的確に反映させるケアマネジメントの実践に努めた。
- 利用者、及び地域に選ばれる事業所となるよう、社会援助技術をみがいた。
- ケアプランを核として、在宅介護の中心的役割を担う事業であるため、デイサービス、ショートステイ等の在宅介護サービスの運営の向上に努めた。

3

2. 地域密着型施設 ファホール泉が丘(サテライト型)

入居者・利用者の目標稼働率等について

小規模特別養護老人ホーム (泉が丘2階・3階)

目 標 98.0% (19.5名)



実 績 93.0% (18.6名)

- 個室ユニット型施設の特性を最大限生かし、施設が暮らしの場となるよう努めた。
- 個々の利用者の能力に応じ、自立した日常生活が過ごせるよう、機能回復訓練等の実施した。
- 入退居の際に発生する、アイドルコストの削減に努めた。

小規模多機能型居宅介護 (泉が丘1階)

目 標 要介護 19名、要支援 3名



実 績 要介護 19名、要支援 3名

- 通い・訪問・泊まりの多機能サービスを柔軟に組み合わせ、ご利用者が、中重度になっても住み慣れた自宅、地域(日常生活圏域)で安心して生活が送れるよう努めた。
- 地域包括支援センターとの密接な連携により、新規利用者の獲得に努めた。

参 考…… 全国平均契約者数 … 18.3 名

全国事業者数 …… 3,940箇所

神戸市事業者数 …… 39箇所(H25.10.1現在)

4

介護予防拠点活動について (泉が丘1階)



- 外部専門医による、介護予防相談、及び研修会(3回)を実施した。
- 臨床心理学を駆使した、精神的支援活動(月2回)を実施した。
- 地域交流行事(地蔵盆、映画会等)をH25年8月に開催した。
- 介護予防に向けた、音楽鑑賞会を実施した。
- カラオケ機器等を使用したアクティビティを実施した。

3. 食事サービス内容等について (星陵・泉が丘共通)

食生活と安全配慮

- 変化に富み、色彩感あふれる献立作成に努めた。
(嗜好調査、残渣調査、利用者・家族からの意見聴取等)
- 個々の利用者のADLに叶う栄養ケアマネジメントを実施した。
- 感染対策マニュアル等により、適正な感染対策に努めた。

食事を満喫できるレクリエーションの定例開催

- 利用者が参加できる手作り食事を実施した(テイク・小多)。
- 音楽コンサート(ライブ)等をかねた、多様な食事会を実施した。

5

4. 行事について (星陵・泉が丘共通)

変化にとんだゆとりが感じられる生活空間の中で多種・多様なアクティビティケアを別紙の通り実施した。

5. 各会議等について

施設にとり、必要な運営管理が行われ、利用者にとって尊厳ある生活支援が行われるよう、4会議8委員会を別紙の通り開催した。

6. 総合リスクマネジメントについて

苦情対策

- 苦情機関の存在・ルールを、利用者等に正しく理解できるよう図った。
- 苦情解決規程を正しく機能させ、苦情に対し早期解決を図った。

介護事故防止対策

- 事故事例等による再発防止研修会の開催した。
- ヒアリング報告書の分析(1回/年)により、介護事故防止等を図った。

6

感染症予防等の個別対策

- ファホール星陵・泉が丘 感染対策マニュアルによる研修を実施した。
- 感染症等対策検討委員会を3箇月毎に開催した。
- 褥瘡予防対策委員会を開催した。

人事労務管理の徹底

- 介護職員の質、及び量の確保・育成・定着化の促進を図った。
- 労働条件(給与)、福利厚生、安全衛生等の再点検を実施する。

7. 教育研修について

- 事業所で勤務するすべての者に対し、高齢者虐待防止に係る継続教育を実施した。
- 介護サービス事業所接遇テキストによる接遇マナー教育を実施した。
- 神戸協和会 教育研修規程の周知徹底を図った。
- 外部研修(OFF JT)への参加